

令和4年度第三者評価 改善状況報告書

令和5年3月31日

施設名	麻布子ども中高生プラザ	施設所管課	麻布地区総合支所管理課
所在地	港区南麻布4-6-7	指定管理者	公益財団法人児童育成協会

改善すべき指摘内容等	対応事業者 (共同事業者の場合記入)	令和5年3月までの改善状況等 (指定管理者記入欄)	令和5年4月以降の取組予定 (指定管理者記入欄)	所管課確認欄 (施設所管課記入欄)
子どもの人権擁護等について、今後はさらに、中高生プラザとしての具体的なガイドラインや、チェックシート等の整備が期待されます。	公益財団法人児童育成協会	3月にみなトークと題して、子どもの人権について子どもと話し合う時間を設け、子どもも大人も考える機会を設けました。	当法人の「行動指針」を改訂します。臨時職員を含めた職員全員が携帯し、いつでも確認できるようにします。 港区内の児童館館長が集まる会議において、各児童館の状況等の情報収集し、整備できるように働きかけます。 令和5年度中に整備を行う予定です。	多様性を認め合い、誰もが安心・快適に過ごせる施設環境、マニュアル等の整備ができるよう区としても支援していきます。
異なる文化を持った利用者が多い状況を活かし、より日常的な多国文化との交流を促す取組に期待します。	公益財団法人児童育成協会	2月にアートスケープ展と題して、首都圏のインターナショナルスクールに通う児童の作品展を行いました。	「世界のどこでもハンズオン」と題して4月には駐日ハンガリー大使館の協力のもとイースターエッグ作り、8月にはガーナよさこい支援会の協力のもと、日本人とガーナ人の高校生によるクイズ大会、踊りの披露などを実施します。また、高校生による自主企画で、ベトナムのラッカーアート（漆絵）のレクチャーも実施し、日常的な他国文化との交流を促します。	施設ではこれまでも異なる文化をもった利用者が多いことを活かし、他文化を取り入れたプログラムの充実を図ってきました。今後も利用者のニーズに応じ、活動の幅を広げていけるよう、継続的に支援していきます。
現場のニーズや特性に応じたマニュアルの記載について、職員主体で検討する機会を作ることを期待します。	公益財団法人児童育成協会	マニュアルの変更が必要な場合は職員で話し合いの場を設け、マニュアルに反映させました。	既存のマニュアルを職員がチェックし、ニーズや特性に応じたマニュアル作りをします。	利用者のニーズや地域特性を鑑み、定期的に職員間で共有、検討し、それに応じたマニュアルの整備に期待します。